

# ダイゾー80年のあゆみ

## PART 2

エアゾール事業部

### 昭和31年(1956年)

3月 業界で先駆けてフロン以外の噴射剤の研究開始

### 昭和32年(1957年)

年初に大阪造船所の資本系列に入り  
11月 大阪エヤゾール工業(株)に変更



初期のエアゾールスプレー広告

### 昭和38年(1963年)

2月 京都工場完成

### 昭和39年(1964年)

4月 東京工場完成

### 昭和42年(1967年)

12月 ローダーとして初めて無菌充填室を設置



昭和40年代のエアゾール工場作業風景

### 昭和61年(1986年)

9月 東京工場に日本で初めてエアゾール医薬品工場が竣工

### 昭和63年(1988年)

11月 コンピュータ制御の原液調合工場を建設して顧客より全量支給されていた原液の調合工程を請け負い可能に。東京工場は、より顧客満足度の高い会社へ成長

### 平成元年(1989年)

1月 技術やアイデアを発表して取引先へ新製品開発の参考してもらおうというピフォアサービス精神より展示会を開催(以降のBST-IVENT)

### 平成6年(1994年)

12月 中国に上海江南造船所との合弁会社、上海江南大造気霧剤実業有限公司(現資本は100%ダイゾー上海大造気霧剤有限公司)設立



上海ダイゾーエアゾール設立

### 平成5年(1993年)

4月 大阪造船所に吸収合併。ニチモリ事業部のシステム事業部が情報システム事業部となる

ニチモリ事業部

### 昭和39年(1964年)

10月 日本モリブデン(株)が大阪造船所の資本系列に入る



旧モリブデン粉砕機

### 昭和44年(1969年)

8月 大和興産(株)と合併し、日本モリブデン(株)を設立。ニチモリ及び砕石の2事業部



展示会の様子

### 昭和53年(1978年)

11月 ニチモリ事業部が独立して日本モリブデン(株)となる



(株)ニチモリ・センチュリーシステムアイと改称

### 昭和61年(1986年)

10月 大阪工場新設

### 昭和62年(1987年)

2月 (株)センチュリーシステムアイと合併し、(株)ニチモリ・センチュリーシステムアイと改称。ニチモリ・システムの2事業部

### 平成8年(1996年)

10月 接着剤事業に本格参入

### DISQ

### 平成5年(1993年)

4月 情報システム事業部として独立

陸機事業部

### 昭和56年(1981年)

2月 開発した駐輪機二段式ラックを所沢市に納入



初期の駐輪機



二段式ラック

### 昭和59年(1984年)

盛岡市に2,000台納入当時日本一の規模

### 昭和60年(1984年)

12月 駐輪機業界で初めて搬送コンベアを開発。伊丹市へ納入



搬送コンベア

### 平成8年(1996年)

5月 造船事業部と陸機事業部に分かれる

鉄構造造船事業部

大阪造船所時代  
前号参照

### 昭和61年(1986年)

10月 修繕業務の競争力強化のため(株)大阪造船ドックを設立

### 平成2年(1990年)

10月 船舶修繕部として造船部がスタート

### 平成9年(1997年)

10月 飛行船膜材事業を進める。(株)スカイピアの経営権を取得、同分野への本格的取組

平成5年(1993年)4月。大阪エヤゾール工業(株)(現エアゾール事業部)および(株)ニチモリセンチュリーシステムアイ(現ニチモリ事業部および(株)ディアスクエアを吸収合併し、新生大阪造船所として事業基盤の強化が図られました。

平成12年8月には、株式会社 大阪造船所から株式会社 ダイゾーへと商号変更。

新生ダイゾーのあゆみは、4事業部の展開によるところが大きいのですが、その源流と萌芽まで、そして現在に至る歴史をご紹介します。

### 平成12年(2000年)

8月 タイダイゾーエアゾール設立



タイダイゾーエアゾール設立

### 平成13年(2001年)

6月 オーストラリアのバックスオーストラリア社との間で、ONE Asia Network 結成

### 平成22年(2010年)

9月 ONE Asia Network にインドのアジアンエアゾール社加入

### 平成23年(2011年)

8月 京都工場第一工場を医薬品製造工場へ

### 平成24年(2012年)

3月 東京工場 液充填工場竣工

### 平成25年(2013年)

9月 ONE Asia Network とポルトガルのColep社が業務提携を行いACOAを結成。業務提携が欧州・インドに広がる



ACOA 全世界に及ぶ包括的業務提携

### 平成26年(2014年)

3月 中国に張家港大造気霧剤有限公司を設立



張家港工場(ZDA)

平成12年(2000年)8月(株)ダイゾーに商号変更

### 平成12年(2000年)

2月 タイダイゾーニチモリ設立  
11月 パウダー分級器導入



タイダイゾー(TDN)

### 平成18年(2006年)

3月 東京第二工場竣工



新東京工場 モリブデン粉砕機

### 平成19年(2007年)

4月 大阪工場をダイゾー本社敷地内に移設。潤滑塗装工場として国内最大規模

### 平成19年(2007年)

8月 (株)ディアスクエアを設立

### 平成13年(2001年)頃

ベトナムでの駐輪機製造開始



ベトナムでの駐輪機製造

### 平成22年(2010年)

5月 大阪市北区を中心としたエリアにて駐輪機の管理運営を開始



大阪市北区周辺

### 平成15年(2003年)

5月 修繕を含めた造船事業を子会社の大阪造船ドックへ集約

### 平成19年(2007年)

8月 組織名を造船鉄構事業部と改称

### 平成20年(2008年)

5月 (株)スカイピアを吸収合併する



木津川工場

### 平成22年(2010年)

6月 タグボートの新造船一隻目引き渡し(昭和63年以来初)

### 平成23年(2011年)

10月 大島造船所向けの資材部を新設



タグボート(瀬田丸)



## 阪神・淡路大震災での救出活動

### ■ 孤島から800人の救出

平成7年(1995年)1月17日午前5時46分、淡路島を震源地とした地震は阪神・淡路地方に大きな被害をもたらした。当時、六甲アイランドには大阪エヤゾール工業事業部の取引先であるP&Gの日本本社があり、社員とその家族を含む約800人が神戸市街地と結ぶ六甲大橋が不通のため、六甲アイランドに閉じ込められるという事態が発生。P&G社から、「船の手配ができないだろうか」との救出依頼を受け、南尚社長(当時)指揮の下、救出作戦が始まる。しかし、当社は大人数が乗れる船は所有していなかったため、造船・陸機事業部の長野常務(当時)が淡路の親戚から200人乗り大型クルーザーを手配し、1月19日・20日の2日間にわたり延べ800人(ほとんど外国人)を無事救出した。

### ■ 透析患者などの救助も行う

六甲アイランドの病院施設では、破壊や水の不足で人工透析ができなくなっていた。病院からP&G社を通じ当社に依頼があり、6人の患者を家族と医師付き添いで島から救出。船着場で待機していた救急車で直ちに大阪市内、府内の病院へと向かった。



(平成7年1月20日 読売新聞夕刊)

当社のこの一連の行動は、混乱した状況の中で非常に素早い対応であると評価を受け、P&G本社から、また近畿運輸局から感謝状が授与された。

【阪神・淡路大震災】  
マグニチュード7.3 家屋全半壊：257,890戸  
死者・行方不明：6,427人 家屋焼失：7,465戸  
死者の88%は圧死